

## オンラインを用いた実習形式授業の模索

九州大学農学部附属演習林北海道演習林

2020年度は新型コロナウイルスの影響で、大学全体でオンラインの授業が実施されることになりました。通常の授業ですと、資料の配布等をオンラインで行い、遠隔で講義を実施された方が多かったようです。北海道演習林ではこれまで学部3年生を対象とした講義として、本演習林内に生育する樹種の解説や森林調査、カラマツを主体とした林業、林産業の現地見学などを行っていました。

前年度までの学生の皆さんには夏休みに九州から北海道に来てもらって、九州と大きく異なる自然や林業体系を体感してもらうことに主眼を置いていたのですが、オンラインでそれを伝えることが可能なのか、担当職員一同頭を悩ませました。昨年度までの講義内容をオンラインの資料として提示、説明するだけでは、授業の質が低下してしまうかもしれません。北海道演習林の教員と技術職員で議論した結果、これまでの北海道演習林内を中心とした資料だけでなく、より広域での資料を作成・提示することで、北海道の森林・林業への理解を深めてもらおうということになりました。

この指針に従い、教員と技術職員は北海道演習林だけではなく、植生の異なる山岳地域や低地帯などに足を運び、動画や写真の教材集めに奔走しました（写真1）。結果としては北方の森林についてより広範な情報が提示できたのではないかと感じています。とはいえ対面で話すことができず、学生の反応も今ひとつつかみづらいオンライン授業（写真2）は今年度限りになり、来年からは学生さんが実際に森に入って勉強できる環境になることを強く願っています。



写真1 学生有志と雌阿寒岳登山

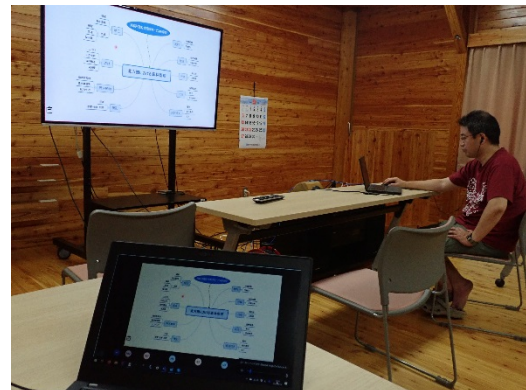


写真2 オンライン授業風景